

秘

昭和八年四月三十日
衛生業務日報

混成第十四種圖書令部

車輛ヲ以テ五カヲ發送シ次テ十六日自動車班ノ自動車
 歸還ニ際シ五カヲ發送シ前後二回ニ十カヲ發送セリ
 東兵支隊ニ屬セシ衛生班ハ支隊ト別カルルニ際シ當時
 入班中ノ患者ニ必ク之ヲ白藪家口ニ於テ平泉ニ歸還スヘ
 キ事又ノ醫官ニ托シ平泉關東軍臨時第一野疾病院
 ニ轉送シタリ

田衛支隊材料補給ノ状況

四月九日混白樺隨隊ニシテ荒多請未シタル補充員
 ニ對スル痘苗ニヨリ分四月三十日到着シタル仔直
 支在平泉部隊ノ介ヲ分配シ他ハ四月三十日衛生班送
 休シ各隊ニ分配セシナリ、其ノ分配區分防疫員
 ニ部ス

又各種衛生材料ハ朝陽支隊ノ請求ノ更級由目ヲ關東軍

軍醫部ニ報告スヘシト四月十日早業醫部長ヨリ電報
 アリタルニヨリ奉天陸軍關東軍倉庫ハ五月分ノ衛生材料其
 他受領ノ為出張中(但、要事ニ乘不出張シ)看護長ニ右ノ旨
 電報ナルト共ニ朝陽支隊ニ豫メ準備シ置クヲ要スト認ムヘキ
 材料ノ準備ナク電報ヲ依頼セリ

六 旅團司令部ノ携行衛生材料ハ隊階級一班ニ班班担架
 隊瓦斯階級等ノ班數材料外ニ梱イリ、内ニ多捆ハ隊階
 級内寄ノ藥物酒精類ノ増加携行品ニシテ外ニ多捆ハ主トシテ
 保健所服用トシ消毒用トシ銀膏、クレソール等類ヲ含ム

五 一般衛生状況

患者ノ状況

本向間各部隊ノ休業以上ノ新患總數ハ三十九カニシテ先

同シ此シテハカチ概ナリ其ノ至ナルニハ先同ハ戦傷ハ上カアリ
 タルニ對シテ第一カチアリタルニ過ギルカチ為メニシテ卒病宛
 同ノ多クカチ比スレハ及ツテ曰カチ増加シタルフトトナル怨レト
 又其ノ患カチ種類ハ多ク種多ク採ツテ胸腹炎一花柳病ニ由
 採突起ス一等注意スヘキモノナル也他ハ特ニ部々ヘキモノナシ
 部隊別患カチノ状況次表ノ如シ

部隊別	新患	既患	別	摘	要
歩ニ五ノ五	八	九	五		
歩ニ二ノ五	三	二	一		
歩ニ一ノ五	一	五	二		
歩ニ八ノ五	五	五	二		
野砲	五	三	一		隊場(再巻)
自衛隊	五	一	三		

其ノ他ノ部隊ニハ患カチナシ
 被服ノ状況

防寒外套ハ尚不利キ場ケス夜間モ布代用トシテ使用セ
 シメアリ、

軍衣袴ハ各隊共ニ痕損稍著シキモノナルニ補修材料等
 方道ノ夏服ト交換セシムルヲ以テ應急處置ヲナサシム
 ツアリ、軍靴モ破損スルモノ多キヲ以テ地下タビヲ支給シ
 緩和ヲ計リ居レリ、

第一線部隊ニ於テハ石礮齒磨ナリ紙靴下洗濯石礮
 等ノ補給充介ナラズ相當缺乏ノ海困甚シク状況ナリ、
 給養ノ状況

給養ハ概不良ナルモノ第一線部隊方面ニ於テハ副食
 物殊ニ調味品ノ缺乏セルトナリ、

大宿營ノ状況

宿營ノ概ネ三月十五日頃ノ態勢ニ於テ各宿舎ニ復歸セシメタルモノシテ特ニ記スヘキモノナシ

給水ノ状況

前同様シテ特ニ記スヘキモノナシ

氣象ノ状況

天候概テ良好シテ外氣未過ハ益々上昇シ朝八十五度内外ヲ不レ益間ハ一十度内外ニシテ最高ニ十五度ニ達シタル日ニ數日アリ、概テ風塵強シ、司令部ヲ測定シタル氣未過表次ノ如シ

月日	天候	測定時時刻	測定	月日	天候	測定時時刻	測定
四月 二十日	曇	〇.〇	六.〇	二十日	快晴	六.〇	六.〇
二十一日	快晴	六.〇	五.〇	二十一日	曇	六.〇	六.〇
二十二日	〇	六.〇	一.〇	二十二日	〇	六.〇	六.〇
二十三日	〇	六.〇	〇	二十三日	快晴	六.〇	六.〇
二十四日	〇	六.〇	〇	二十四日	快晴	六.〇	六.〇
二十五日	〇	六.〇	〇	二十五日	〇	六.〇	六.〇

二所被及衛生施設

歩兵隊第一聯隊第一大隊ニ於テ太平房整備隊ニ於テ一カ所ニ七日發病ノ一日程紅熱疑似ヨリ朝陽閣東軍臨時隊ニ野戰病院ニ入院シタル為同隊ニ於テ八發病ノ二所被及衛生施設ヲナシ其後續發シ徵ナシ

二、腸チフス、バクテリウム豫防接種亦前隊防錠ノ用服種痘

